

国民を無視した消費税増税法案の参議院での採決に抗議します。

草の根の運動と世論を高め、増税阻止の国会を!

2012年8月13日

消費税をなくす全国の会常任世話人会

消費税増税と社会保障解体を柱とする「社会保障と税一体改革法案」が8月10日、参議院本会議において強行可決されました。民主・自民・公明3党が、増税反対の国民の世論に背を向けて、2014年8%、2015年10%にする消費税増税法を強行したことに抗議します。

そもそも消費税は、所得の低い人に重い逆進性を持つ悪税であり、暮らしと景気を破壊する税金、中小業者にとっては営業破壊税です。

「任期中は消費税増税しない」との公約に違反した民主党に対する国民の怒りは頂点に達しています。野田民主党内閣は政権を担う資格はありません。

私たちは、国民の声を無視し、密室談合を繰り返し、悪政を押しつける野田内閣・民主党、自民党、公明党の暴挙に満身の怒りを込めて抗議するとともに、増税中止を求めて引き続き運動を広げていくことを表明します。

消費税増税法案と社会保障大改悪案は、民主党、自民党、公明党と「与野党連合」が進むにしたがいさらに悪法化しました。

この間、私たちは、草の根の広範な個人・団体、国民各層と共同し、増税反対の運動と世論を高めるために全力をつくしてきました。この運動と世論の高まりは、民主党の分裂や7党による野田内閣不信任決議案、問責決議案の提出という段階に増税勢力を追い詰めてきました。

そして、消費税増税と社会保障大改悪という問題にとどまらず、反原発、TPP参加反対、オスプレイ配備反対、辺野古移設反対など、国民の声を反映しない政治に対する怒りは、首相官邸前20万人、17万人の国民集会など連帯の動きが各地で広がりました。

野田民主党内閣と自民党、公明党による「与野党連合」という議会政治のあり方に対する厳しい批判にまで高め、発展してきています。

民自公の暴挙で、法律は決まっても実施までは期間があります。私たちは、一日も怠らず「消費税増税中止」を求めて世論と運動を高めるため全力をつくします。

消費税の本質をさらに広く知らせ、大企業・富裕層を優遇し庶民を苦しめる税制をただし、税金のとり方、使い方を根本からあらため応能負担の原則を貫く国民本位の税制を求めていきます。

来るべき総選挙と参議院選挙で、増税勢力に国民が審判をくだし、増税反対・廃止をめざす議席を多数にしていきましょう。